

子ども達のために無農薬栽培を広めたい

齊藤 亜季さん

(アオハル農園)

坂井市

(令和6年10月)

プロフィール



- ◆ 結婚を機に看護師を退職した際、家族から「自分で食べ物を作れるように」と勧められ農業を始める。
- ◆ ふくい園芸カレッジや地元のいちご農家での研修を経て、いちごの無農薬栽培を始める。
- ◆ ハウス8棟でいちご（紅ほっぺ）の土耕栽培の他、薬草、バナナ、パパイヤなどを栽培。
- ◆ 無農薬栽培を広めるべく、農業経営コンサルタントとともに、トレーニングファームとして研修生の受入を行う。



代表の齊藤さん（左）と、農業経営コンサルタントの玉城さん（右）

私から見た「農業の魅力」とは



- ◆ 自分のペースで作物と向き合うことができるのは、魅力だと思います。何が必要で何が不要なのかを考え、それぞれに合った営農を考えるのは、看護と似ているなと思います。
- ◆ 自分が育てた作物で喜んでもらえることが、我が子を褒められているようでとても嬉しいです。誰かの健康の維持と増進に関われる農業は、とても魅力的な仕事だなと思います。



ちょっと一言



- ◆ 無農薬栽培に関心のある方に研修を始めました。生活基盤をすべて農業にシフトするのではなく、気軽に少しずつ農業を始めてもらえるようにしています。
- ◆ 無農薬栽培の指導者を増やし、誰もが無農薬栽培ができるような仕組みを作り、学校給食でたくさんの子ども達に無農薬の野菜を食べてもらいたいです。



農業に関心のある皆さんへ

- ◆ 実際に農家を訪問したり、農地や栽培品目を考えてみたり、事前の準備がとても大切だと感じます。
- ◆ 小規模からで良いので、少しずつ始めていくことが大切なのかなと思います。

